

# 男女共同参画都市宣言関連事業

## 男女共同参画都市宣言記念講演会

令和4年度は、男女共同参画都市宣言を記念する講演会を9月に開催しました。

- ◆日時：9月11日（日）  
10：30～12：30
- ◆会場：福津市立図書館2階研修室1
- ◆参加者：40名
- ◆演題：「幸せの人間関係～男女共同参画は対等な人間関係から～」
- ◆講師：中島 俊介さん  
(西南女学院大学教授・北九州市立大学名誉教授・臨床心理士)

9月11日、男女共同参画都市宣言記念講演会を行いました。

西南女学院大学教授・北九州市立大学名誉教授であり、臨床心理士の中島 俊介さんが講師を務め、「幸せの人間関係」をテーマにご講演いただきました。

心理学者のアドラーは人の悩みの8～9割は人間関係が原因だと言っています。幸せの人間関係を実現し、その人らしく生きる方法は、人と人との間に「対等な人間関係を結ぶこと」であり、それには対等な会話である対話やコミュニケーションが有効であると話しました。

対等な人間関係を築く良いコミュニケーションには「聞く」という態度と姿勢が必要です。「聞く」とは①意味をとらえる②OKする③質問する④判別することの4つのことで、中でも「質問する」ことが大事だということです。

また、対話を始めるときに肯定的な受容の一言から始まる「たしかに」「そうなんだ」「なるほどね」「そんな考え方もあるんだね」を口癖にすると、良いコミュニケーションにつながります。「今ここでの感情」を聴くこと、過去や未来は問わず、善し悪しは語らず、心理学者アドラーの「勇気づけ」をマスターするとよいです。

人間関係の第一歩は自己受容とされています。自己肯定感の小さなレンガを積み、まずは自分自身をあるがままに認めて、受け入れることが先決ですと続け、不幸な人は人を幸福には出来ないの、まずは自分自身が幸福になることが大切だと説明がありました。

中島先生のユーモアを交えたお話に会場の皆さんは引き込まれていました。皆さん笑顔になり、もっと話を聞きたいといった声が上がっていました。



## 「男女がともに歩む」一行詩 優秀作品

小・中・高校生の「男女がともに歩む」  
一行詩優秀作品の表彰を、12月10日（土）  
の人権講演会の冒頭に行いました。  
（※学校名・学年は令和4年度現在）

### 【小学生の部】

- 岩永 <sup>いわなが</sup> <sup>みくも</sup> 三雲さん（勝浦小学校5年）  
大切なのは、男女問わず、  
自分の道を歩むこと
- 音成 <sup>おとなり</sup> <sup>れいあ</sup> 玲愛さん（上西郷小学校5年）  
自分が決めたせかいでいい。
- 吉田 <sup>よしだ</sup> <sup>りゅうき</sup> 龍生さん（神興小学校4年）  
男らしさ 女らしさ 気にしないでいい  
大切なのは 自分らしさだから
- 森 <sup>もり</sup> <sup>わかほ</sup> 和香歩さん（神興東小学校6年）  
「手伝うよ」まちがってるよ お父さん
- 中島 <sup>なかしま</sup> <sup>あん</sup> 杏さん（津屋崎小学校5年）  
どうしたの？あなたはあなた。  
それでいい。
- 松原 <sup>まつばら</sup> <sup>ちえ</sup> 千笑さん（福間小学校4年）  
「男だから」「女だから」そんなこと気に  
しない だって私は私 君は君
- 白橋 <sup>しらはし</sup> <sup>めい</sup> 芽育さん（福間南小学校5年）  
ランドセル個性を表す印だよ

### 【中学生の部】

- 岡田 <sup>おかだ</sup> <sup>しょうた</sup> 翔太さん（津屋崎中学校3年）  
家事育児 そこに男女の かべはない
- 石松 <sup>いしまつ</sup> <sup>めい</sup> 芽衣さん（津屋崎中学校3年）  
男でしょ女でしょ 性別じゃない  
「私」を見て

- 松本 <sup>まつもと</sup> <sup>ゆうた</sup> 悠汰さん（福間中学校3年）  
将来は性別で決まらない

- 松井 <sup>まつい</sup> <sup>ひなた</sup> 陽菜多さん（福間中学校3年）  
メイクや洋服、男女を気にせず  
好きな物に 自信を持って。

- 河村 <sup>かわむら</sup> <sup>なつみ</sup> 夏実さん（福間東中学校3年）  
「手伝うよ」家事は自分の仕事じゃないと  
どこかで思っていないですか？

- 石橋 <sup>いしばし</sup> <sup>みほ</sup> 美穂さん（福間東中学校2年）  
男性ですか？女性ですか？  
書く必要ってありますか？

### 【高校生の部】

- 中條 <sup>ちゅうじょう</sup> <sup>こうせい</sup> 宏政さん（光陵高校2年）  
やってみないと分からない家事の大変さ  
自分にできることを少しでも
- 佐々木 <sup>ささき</sup> <sup>ひなた</sup> 陽向さん（光陵高校2年）  
朝一番 子どもの弁当作る母  
父はいま頃夢の中  
難しいことは言わない 声かけだけでも
- 塚田 <sup>つかだ</sup> <sup>しおり</sup> 詩織さん（光陵高校2年）  
“男” “女” って性別なんてない  
“自分” っていう性別がある

- 石井 <sup>いしい</sup> <sup>あやの</sup> 綾乃さん（水産高校1年）  
しばられず 自分らしさを  
出していこう

- 遠藤 <sup>えんどう</sup> <sup>ただなり</sup> 侃也さん（水産高校1年）  
男も泣いて良いんだよ

## 「男女がともに歩むまちづくり」 推進モデル

家庭、地域、職場、学校などで「男女がともに歩むまちづくり」を積極的に進めている市民や団体、事業者などを「推進モデル」として推奨しています。

推奨式を、12月10日(土)の人権講演会の冒頭に行いました。

### ◆日本語教室「わかば」

《推奨理由》

日本語教室「わかば」は、平成15年に社会教育に関わる数人のスタッフが立ち上げたボランティア団体です。国際結婚や仕事、技術実習、留学などで、年々増えていく外国人市内居住者の「時間や学費の負担が少なく、できるだけ近くで日本語を学べる場所を」という声を受けてのことです。今年で20年目を迎え、現在では約40カ国の生徒が通っています。

指導スタッフの皆さんは、この教室を「教えるため」だけではなく「国際理解」「人との交流」の場と考えています。さまざまな国の生徒と関わる中で、考え方や習慣、文化の違いを理解し、時には家族の困りごとに耳を傾け、気持ちに寄り添いながら安心して暮らせる環境づくりに尽力しています。

日本語教室「わかば」は言葉や文化、宗教、生活習慣などの違いを理解し、多様性が認められる男女共同参画社会の実現に取り組んでいます。市の男女共同参画の活動のモデルケースとして、今後も活躍が期待されるため、男女がともに歩むまちづくり推進モデルに推奨します。

